



今、私にできること

南関中学校3年 打越 心音

私は、戦争というものは物凄く恐ろしいと思います。

意味もなく次から次へと、人々が亡くなり、建物が燃えていく時代が、なぜ存在したのか、なぜ戦争を反対している人の意見が通らなかったのか、今の時代を生きる私にとっては、不思議なものです。

私は、国語の授業で「わたしが一番きれいだったとき」という、茨木のり子さんが書かれた詩について勉強しました。

茨木のり子さんが一番きれいだった時に戦争があり、おしゃれのきっかけを失い、とても不幸せだったと書いてありました。その詩を読み、私が一番感じたことは、意味もなく何の罪もない人が亡くなり、誰かが不幸せだと感じるという状況が、今現在も存在しており、戦争というのは、私にとって遠くかけ離れた過去の出来事ではないということです。

それは、地震のような災害の時も同じような状況だと思います。2016年4月14日21時26分以降に、熊本県と大分県で、相次いで発生した熊本地震を、私は小学校6年生の時に経験しました。

多くの人が周りの人々をたくさん失い、大切な人たちを失う辛さを経験しました。

だからこそ、戦争はあるべきではないと思います。命の奪い合いで、青春時代を不幸せに生きた人がいることは確かで、今も地震などでたくさんの人を失い、苦しんでいる人がいることも確かです。

人間の命は、一つしかありません。だから、一人一人が命の重みを、しっかり知る必要があると思います。

私は、小学校の頃に、実際に戦争を経験された方から、話を聞くことができました。

また、戦時中の頃について書かれた詩から、もう一度命の大切さを改めて感じ、命を失う辛さを目の当たりにしました。その私が、周りの人へ命の大切さを伝えていくべきだと思います。

私自身も同じ人間同士、親からもらったかけがえのない命を、大切にしていきたいです。

そして、戦争のない平和な世の中を維持していきたいです。